

平成13年度第4回法務委員会議事抄録

日時 平成13年7月3日(火) 13:00~18:45

場所 操縦士協会事務室会議室

1. 今年度活動目標について以下の通り決定した。
 - (1) 「航空事故再発防止のためのシンポジウム」への取り組みとフォローアップ
 - (2) パイロット手帳版「事故に遭遇したら」の発行
 - (3) 事故調査、刑事捜査に関する更なる研究
 - (4) 協会ホームページへの対応、パイロット誌を通しての広報活動
 - (5) 事故当事者への「側面的支援」についての取り組み

2. 委員長より第3回法務委員会以降の活動経緯の説明があった。
 - (1) 事故調査委員会、パネリスト各位向けの趣意書を作成した。
 - (2) 河村一男、元群馬県警察本部長との面会が実現した(6月20日大阪にて、委員長)
 - (3) 同氏の要請により過去1970年代からのパイロット誌に掲載された法務関係記事等のコピーを送付した。
 - (4) 岩瀬監事のご尽力により山森久彰氏、鍛冶壮一氏にパネリストを快諾いただく。
 - (5) 6/28、委員長が協会にて山森久彰機長にご挨拶
 - (6) 同日、事故調査委員会訪問。パネリストの要請するも夕刻、正式におことわりの電話あり。(村上副会長、岩瀬監事、委員長、大木事務局長が訪問、事故調側は渡木首席事故調査官に1時間に亘り対応していただいた)
 - (7) 同日夜、これをうけ岩瀬監事のご尽力により武田 峻 氏にパネリストご快諾いただく。
 - (8) 6/29、池田良彦教授にパネリストご快諾いただく。

3. 国土交通委員会で取り上げられた国家行政組織法に於ける第三条委員会と第八条委員会について学習。

4. 上記2の第3項目の資料に関し、岩瀬監事にリストを作成していただいた。後日パネリストに配布予定。

5. 委員が持ち寄ったシンポジウム基礎資料「話題、論点、提言等をどのように取り扱うか」、約70項目の中から優先度、重要度を考慮しランク付けをした。整理して来月、更に検討する。

6. 「5名のパネリストへのお願い」について確認。

7. 「事故に遭遇したら」PILOT手帳版、小山委員の最終案について検討し修正を加え校了。
編集委員会より依頼のあった弁護士連絡先、記載の件は松岡協会顧問弁護士の了承を得、事務所

の電話番号を載せられることとなった。

一方、組織的支援に関しては協会内でのコンセンサスが得られてない現状から原案のまま記載することは問題があり今後の課題として（今期、後期の活動目標にする）側面的支援を目処に検討することとする。

以 上